

## ごあいさつ

北の構図展は、帯広・十勝の美術作家・美術愛好者の啓蒙・育成を目的に平成6年度から開催し、今回で15回目を迎え、延べ194人の帯広・十勝の作家の皆様を紹介しています。

毎回テーマを決めて、そのテーマに沿った作品を日頃より旺盛な創作活動を行っている作家に制作していただき、その時代を作家の目を通して切り取り作品に反映しています。

今回は「和(なごむ)」をテーマに作品を制作していただき展示します。

本展覧会を四半世紀の間、鑑賞いただいた市民の皆様には、帯広・十勝の美術界の一時代をご紹介出来たものと思っております。

ここで「北の構図展」は、その役目を終え、今回をもちまして一旦終了とさせていただきます。

本展覧会の開催にあたり、作品の制作に情熱を注がれた作家の皆様をはじめ、鑑賞いただいた市民の皆様、多大なご協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

新たな視点と切り口を求めて、再び皆様にお会い出来る日を楽しみにしております。ありがとうございました。

帯広市民劇場運営委員会  
委員長 瀧川 秀敏

## 全国に輝く高校生の作品を紹介します

※学校・学年は受賞時のものです

書道

中波 明日香 (帯広南商業高等学校2年)

令和2年度第43回全国高等学校総合文化祭高知県大会  
(受賞名)令和元年度高文連全道書道展全道優秀作品賞(全国推薦)

大塚 理央奈 (帯広三条高等学校2年)

令和元年度第42回全国高等学校総合文化祭佐賀県大会  
(受賞名)平成30年度高文連全道書道展全道優秀作品賞(全国推薦)

杉 亮兵 (江陵高等学校2年)

令和元年度第42回全国高等学校総合文化祭佐賀県大会  
(受賞名)平成30年度高文連全道書道展全道優秀作品賞(全国推薦)

田中 ひかる (帯広南商業高等学校3年)

令和元年度 書の甲子園  
(受賞名)秀作賞

宮村 梨瑚 (帯広柏葉高等学校2年)

令和元年度 書の甲子園  
(受賞名)秀作賞

大塚 理央奈 (帯広三条高等学校2年)

平成30年度 書の甲子園  
(受賞名)秀作賞

青木 愛花 (帯広三条高等学校2年)

平成30年度 書の甲子園  
(受賞名)秀作賞

※美術で徳岡里桜さん(帯広南商業高等学校2年)が北海道代表として令和2年度第43回全国高等学校総合文化祭高知県大会に出品しましたが、現在他の展示会に作品を使用中のため、今回は展示できませんでした。

※書道で池原亜飛さん(帯広柏葉高等学校2年)が北海道代表として令和3年度全国高等学校総合文化祭和歌山大会への出品が決まっていますが、地元で作品が無いため、今回は紹介できませんでした。

帯広市民劇場第937回公演

第15回

# 北の構図展



なごむ  
テーマ「和」

十勝美術作家15名  
による絵画・写真・  
書道の作品を展示  
致します

会期

2021.2.11(木)▶2.16(火)  
10:00~18:00(最終日は16:00まで)

会場

帯広市民ギャラリーA1・A2  
(帯広市西2条南12丁目 JR帯広駅地下1階)

入場無料

主催 / 帯広市民劇場運営委員会・帯広市教育委員会  
共催 / 一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団

Information

## ギャラリートーク

作家の皆さんによる、作品についての解説会を行います。

入場無料  
参加自由

- 日 時 / 令和3年2月14日(日)  
午後2時~3時
- 会 場 / 帯広市民ギャラリー

# Artists 出品作家

## 書道



岡本 天進 Tenshin Okamoto / 清水町

この度は、「北の構図展」に出品する機会をいただきましたことに感謝いたします。

私は、漢字や仮名の交ざった現代の言葉で書作する部門を中心に活動しておりますが、今回のテーマ「和」に取り組むにあたり、私の心の中で感じている「和」、社会や人との交わりの中で生まれる「和」、言葉を組み合わせるいろいろな試作した中から、この作品を出品させていただきます。

皆様にも共感していただける作品となれば幸いです。



高橋真奈美 Manami Takahashi / 更別村

昨年始めから流行している新型コロナウイルス肺炎で私たちの生活は一変し、不安だらけの世の中になってしまいました。

今回のテーマ「和(なごむ)」と伺い、このような事態になった今誰もが求めている場所、気持ちなどはないかと思ひ、作品制作の時自分の大切な人達を思い、ポジティブに楽しむ事を心がけて書きました。

見て頂いた方にもその感情が伝われば嬉しいです。



火ノ川静空 Seikuu Hinokawa / 本別町

この度は、第15回北の構図展へ出品のご招待をいただき大変光栄に存じます。

本展のテーマは「和(なごむ)」。どんな作品にするか考え、「恵風和暢(けいふうわちよう)」の4字を書くこととしました。初めて取り組む大字書作品なので拙い点も多々あると存じますが、ご高覧いただければ幸いです。

「恵風和暢」の意味は、心地よい風が吹いて穏やかで和やかにすること。令和3年が穏やかで和やかな年となることを祈念しております。



松橋 翠蘭 Suiran Matsuhashi / 帯広市

この度は出品の機会を与えて下さいましたことに深く感謝申し上げます。

今回のテーマ『和』の文字から日本を連想させ、日常のどこかここに和の言葉を使うことが増えて参りました。

その中で仮名字を和字ともよびますが、今回の作品は日本の懐かしさと力強さを表現してみました。一人でも多くの方が和んでいただけましたら幸いです。



紅月 Kougetsu / 音更町

明末清初の書人王鐸の作品と出合ったのは高校生の時だった。行書や草書が連なり形成する連綿行草の織り成す世界に魅せられた。筆を自由奔放に走らせながらも全体を調和させ得も言われぬような感覚。その時の私はその感覚を求めたくただ只管に書いていた。

一度は筆を置くこととなってしまったが、その感覚が忘れられず数年前にもう一度筆を執ることにした。自由と調和そんな矛盾の作品を求めするために。

## 絵画



嵐田美智子 Michiko Arashida / 帯広市

それは、無垢で。それは、丸い。  
それは、無邪気で。それは、笑う。  
和みに出会って和み、和みを創って和む。

表現活動は、時間・体力・締切など、常に苦しみを伴いますが、気付けば必ず「和」に辿り着いています。

この度は、素敵な機会をいただきありがとうございます。大自然に蠢く小さな「和(なごむ)」をお届けできればと思います。



生本美恵子 Mieko Ikumoto / 清水町

この度は北の構図展にお声をかけて頂きありがとうございます。パステル画に出会って以来今日まで、猫の姿・存在の美しさ、命のきらめきを表現出来るようになりたいと、描き続けています。

本日、ご覧下さる皆さまが、絵の中の光と影を通して、思い思いに何かを想像して、和んでいただけましたら幸いです。



岡本 麗子 Reiko Okamoto / 豊頃町

この度、北の構図展にお誘い頂きありがとうございます。和がテーマという事でイメージとして秋色を思い浮かべました。広大な十勝平野の秋は、みごとに色をつけてくれます、それを思い浮かべながらたくさん、秋色を描いてみました。



原 かおり Kaori Hara / 帯広市

北の構図展にお誘いいただき、ありがたく思っています。テーマは「和(なごむ)」との事で、今の私にとって一番心がなごむのは孫と過ごすひとときです。

その孫を無事に頑張って生んでくれた娘に感謝して、今回は娘と孫を描いてみました。

コロナの為、遠くにいる二人になかなか会えない分、その気持ちを絵に込めてみました。



水尻 悦子 Etsuko Mizushiri / 音更町

この度は、北の構図展に参加の声をかけていただきまして光栄です。

私が、今日までに描いてきた作品を振り返りますと、自分でも気づかないところで、何か穏やかさを求めていたように思います。今回の出品作品ですが、遠く外国から、数ヶ月もの日々を経て、日本の最北に、漂着した貨物船、そこから漂う安堵、そして、大きな(和)を感じながら描きました。

## 写真



臼井 愛子 Yoshiko Usui / 帯広市

2020年の春の始まりと共に、世界が一変しました。しかし、コロナ前も、渦中の今も、連続した時間の中にあります。生活スタイルは日々変わっていきませんが、目の前にある事象をただ撮り続けるしかないと思っています。

追いかけるように過ぎていた日々から一転、これまでやり過ぎてきた諸々と向き合える時間が少しながらできたのも事実です。いっそ手間がかかることをしてみるのもいいと思ひながら、制作を続けています。



大久保 博 Hiroshi Okubo / 帯広市

この度は北の構図展にお声がけいただき、とても光栄に思うとともに驚いています。

人により感じ方は様々ですが、私のイメージする「和」とは、たとえば静かな美しい風景や子供の無垢な笑顔、また何かで笑いあう人たち、など見ていて心穏やかになれる、心休まる情景のことだと感じます。

今回は身近にあり、いつでもだれでも感じられる、触れることのできる場所、静かな風景、そんなことをイメージしながらシャッターを切りました。



須賀 研介 Kensuke Suga / 帯広市

帯広畜産大学進学を機に、埼玉から北海道へ移住して、もうすぐ10年が経とうとしています。

大自然の中で懸命に生きる命と、彼らを取り巻く世界の美しさを目の当たりにする時、シャッターを切らずにいられない感情が私の中に沸き上がります。東の空に太陽が昇ると同時に西の空に月が沈むタイミングは、年に数回しかありません。エゾシカと一緒に温かい朝日を浴びながら、雲間に沈む赤い月を眺めて過ごした和みを、想像しながら鑑賞していただけると幸いです。



仁藤 正憲 Masanori Nitou / 帯広市

十勝・大樹町にあるインターステラテクノロジズは宇宙とロケットが大好きな集団です。

どんどんロケット好きが集まり今ではかなりの大所帯になりました。緊張感あふれるロケットの発射はテーマの『和』『なごむ』から外れているかもしれませんが、発射準備に密着して感じたのはみんなの技術力と情熱を結集させて進めていく中にはひとりの『和』『わ』があり、ふとした瞬間に出る笑いには『和』『なごみ』がありました。



松田 哲典 Tetsunori Matsuda / 広尾町

自然が作り出す季節の舞台にきまぐれな主役がふらりと現れ、そこにたまたまカメラを持った私が居合わせる。私の動物写真は、そんな偶然がくれた贈り物です。

偶然の出会いを求めて、私は何度もフィールドに出かけ、動物たちの行動を観察し、かすかな気配に耳をそばだて、息を潜めてじっとそのときを待っています。そうして私の撮気(=殺気)がふっと薄れ、穏やかな気持ちになれた時に、不思議とチャンスは訪れるような気がします。